

○事業所名	こども発達・子育て支援センター わくわくかん		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和8年1月31日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月10日		～ 令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	これまでの取り組みから家庭だけでなく訪問先からも要望をいただいている	家庭や学校との事前連絡や訪問後の報告連絡等丁寧にやりとりし、話しやすい良い関係性を築けて協力・連携できていると思われる。	今後も顔の見える話しやすい関係作りに努め、子どもの発達や成長に関して情報共有や対応の検討等しっかりやりとりしながら関わっていく。
2	経験豊富な職員を配置している	現場経験の豊富な保育士、公認心理師を配置していることから、様々な立場から子ども達との関わり等について助言がアドバイスができるよう配慮している。	今後も様々な専門的視点を持ち、より子ども1人の特性に配慮し、発達段階に応じたきめ細やかな支援ができるよう努める。また、新たな訪問支援員の育成にも力を入れていく。
3	児発や放デイを利用している方がほとんどなので、園や学校とも連携がしやすい。	訪問支援での様子や児発や放デイでの様子を共有し、より丁寧な支援につなげていけるよう取り組んでいる。	今後も互いの課題となることや成長してきたことの共有を密にし、支援の方向性を確認し合いながら、連携を強化していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援のご希望を多くいただいているが、ニーズにお応えできていない状況がある	訪問支援員が他サービスとの兼務になっていることもあり、訪問支援に対する多くのニーズに十分にえられる人員配置ができていないと思われる。	可能な範囲で別職員にも訪問支援を体験する機会を設ける等しながら、訪問員の育成に力を入れ、訪問員の人数を増やしていきたい。
2	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携ができていない。	訪問時に避難訓練の時間があり、一緒には参加させてもらったことはあるが、実際にそういった緊急時の対応についての話し合いができていないため。訪問時に緊急の対応が必要な場合は訪問先の対応方法を遵守していくのが良いのではと考えている。	訪問先の緊急時の対応についてお聞きし、もしもの時の対応は連携していけるよう取り組んでいく。
3	教具や教材については特に持参したりはしていない。	訪問施設にいろいろな教材等があり、そこで利用できるものがあったり、画像や口頭などで、視覚支援できるものを提案させてもらっていたため。	実際に支援の中で必要なものやイメージしにくいものがあれば、実際に事業所で使用しているのを持参するなど、その時々で工夫しながら取り組んでいきたい。